

事業概要	<p>ソーラーシェアリング(=営農型太陽光発電)に特化して、自社設備建設・他社向け設備請負製造・ソーラー発電事業を中核事業として、企画設計・調達・施工・保守運用管理までの一貫したサポート体制を有する。</p> <p>“ソーラーシェアリング”とは、農地の上に支柱を立て営農継続しながら上部空間に太陽光発電設備を設置し1つの土地で農業と発電事業を同時に行う方式である。</p> <p>当社では売電により収益の安定化を図りながら、有機農業の農業生産法人を設立し新たな支援、地域コミュニティへの支援など、事業を継続していくことが地域貢献につながっている。</p>
部署	総務部
所在地	〒289-2106 千葉県匝瑳市飯塚1037-1
連絡先	(電話番号)0479-85-6760 (E-mail)higashi@energy-chiba.com
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	<p>「ソーラーシェアリング」を通じて、眠っていた農地を生かして地域資源の価値を高め、その価値をみんなへシェアする仕組みを作りたいと考えている。</p> <p>この取り組みをオープンソース化して各地に広めていくことで、「地域」「農業」「生態系」などにも配慮したソーラーシェアリング=環境調和型・再生可能エネルギーの流れを加速させていく。</p> <p>弊社には年間、1500人以上の視察者や見学者の方に訪れて頂いており、これを通じてソーラーシェアリングがもっと全国へ広まることを目指している。</p> <p>今後、このソーラーシェアリングを防災や地域コミュニティの拠点となる公園や公民館・学校などへの導入をしていきたい。</p> <p>また、ソーラーシェアリング設備で採れた作物を飲食店で使ってもらったり収穫体験や料理教室等を企画するなど、農村と都市が繋がり、環境にも優しい取り組みを実現していきたいと考えている。</p>

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	エネルギー／農林水産業・地場産品／防災
		「ソーラーシェアリング」を通じて農地、耕作放棄地等を活性化する。それだけではなく、コミュニティ再生に向けたアプローチを強化していて、田舎暮らしや窯業に興味のある都市部の方へワークショップの開催や移住支援を行っている。また、ソーラーシェアリングで作った農作物もグループ会社や地域の施設と協力してお菓子や飲料などの加工品を作っている。収穫した大豆を使った味噌作りもその一つである。 そして、台風等による停電の際には自社設備を「災害時無料ソーラー充電所」として解放しており、地域の皆様からも好評を頂き、また地元の道の駅と連携し災害時に安心できる場所を作ろうと動いている。グループ企業や全国の仲間と共に、持続可能な社会の実現を目指す。
	URL	https://www.energy-chiba.com
上記ソリューションを提供できる地域について		全国
自者の特徴		毎年、自社の発電設備の一つである「匠瑳ソーラーシェアリング第1発電所」では、秋に収穫祭を行っていて、農業関係者、ソーラーシェアリング関係者、近隣のファミリー層も多数訪れて頂いている。和太鼓や餅つき、御神輿、ライブトーク等を催し、すっかり地域に溶け込み、人々を地元である「匠瑳市」へ呼び込む名物施設となっている。この発電所は、農地を守って発電するというソーラーシェアリングの特性を一步進めて、耕作放棄地を農地として蘇らせて先駆的事例としても知られている。 弊社は、他にも多数の自社設備を保有、他社設備の建設を行っており、農家収入の安定にも寄与し、いまでは地域社会になくてはならない存在として認知されている。これからも多様な成功事例をこの地で確立し、日本全国・世界へと広めていきたいと考えている。
SDGs経営に向けた自者の課題や悩み		—